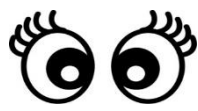


令和6年度

兵庫県立視覚特別支援学校

支援部

# アイ・あい だより



5月号

## 今年度のテーマは???

昨年度のアイ・あいだよりでは、様々な視点から視覚障害についてお伝えしました。

今年度は、『遊び』をテーマに、視覚障害のある子どもたちでも楽しく遊ぶことができる遊びを紹介したいと思います。

今月は『幼児用おもちゃ』について紹介します。

### 【ライトムーブ】

オレンジの丸い部分を押し、音楽が鳴り、振動し光ります。細かい操作はなく、押しだけというとても簡単な操作で、音と振動と光で楽しむことができます。裏には吸盤もついていて、テーブルなどに固定して使うことができます。

丸い部分から手を放すと全て止まります。最初は押し続けることが難しく、瞬間的にしか押すことができず、音楽等は持続しません。でももっと音楽が聴きたい！振動を楽しみたい！光を見たい！という興味から、少しずつ長く押し続けられるようになります。視覚障害のあるお子様は、おもちゃに興味を示さないことが多いですが、そのようなお子様の興味を引き、小さなお子様が主体的に遊ぶことができるおもちゃです。



### 【ミニドーム】

ミニドームもライトムーブと同様、黄色い部分や真ん中の突起の部分を押しと音楽が鳴り、振動します。ドームの中のラメが動いてキラキラするのも楽しいです。



### 【トゲトゲローラー】

これは、ローラーを回すと音が出て、周りの緑の丸い点の部分が光ります。ローラーは惰力で回りますがすぐに止まります。これも自分から物に働きかけて楽しむおもちゃです。



### 【くるくるチャイム】

上の穴に玉を入れると、玉がくるくる回って落ちてきます。さいごに「チーン」と鳴って、玉が出てきます。

弱視のお子様は、玉の行方をじーっと見えています。玉の色もコントラストがはっきりとしていて、見やすいようです。床に落ちても探しやすい逸品です。

全盲のお子様には、玉の入れ口を触らせてあげてください。聞き手が右手の場合、右手で玉を持ち、左手で入れ口を確認して（写真下）、玉を落とします。穴の探し方がわかると自分で穴を確認できるようになります。もっと慣れると左手で確認しなくても玉を穴に入れることができるようになります。玉がくるくと落ちていく時の音を、耳を当てて聞いて楽しめます。

どのお子様も最後に鳴る「チーン」という音が楽しいようで、やみつきになるおもちゃの一つです。



### 【グーゲルバーン（写真上）・Nic スロープ（写真下）】

レールの上をコロコロと玉や人形等のパーツが転がっていくおもちゃです。次のレールに移る時に「コトン」と、とても心地よい木の音がします。

まずは、保護者の方が転がしてあげ、どンドンと転がっていく音を聞かせてあげてください。興味を示したら、一緒に転がしてみてください。全盲のお子様は、レールを触らせてあげて形を理解させてあげると、レールのどこからでも転がすことができるので、お子様自身で遊ぶことができます。弱視のお子様はパーツを追視することでちょっとしたビジョントレーニングにもなります。



一般社団法人日本玩具協会では「おもちゃのバリアフリー 共有玩具推進事業」のなかで、目の不自由な子どもたちが楽しく遊べるよう配慮が施された玩具の普及を提案されています。「ラブラドル・レトリバー」をデザイン化した「盲導犬マーク」が表示されています。



### お知らせ

6月25日（火）10:00~12:00 第1回保護者交流会

毎年この時期に、教育相談で来校されている保護者様を対象に、保護者交流会を実施しています。普段、話す機会が少ない保護者様同士、様々な情報交換ができる場になればと考えています。奮ってご参加お待ちしております。